

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	総合運動公園再生修復事業			事業番号	32-106
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	みどり公園課みどり再生整備担当	吉田 俊	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	2	便利で機能的なまちをつくる	
		施策	32	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	
予算事業名	総合運動公園維持管理費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成28年度	～	終了年度	
関連法令等					
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画				計画期間	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	総合運動公園は、体育館・野球場等のスポーツ施設や自由広場・展望広場等のレクリエーション施設等を備えた公園として、昭和63年に供用開始しました。しかし、自由広場など暫定利用のエリアについては、未着手の状況であり、その整備を求める声もあります。また、施設の経年劣化等が指摘されています。加えて人口減少・少子高齢社会の進展・市民ニーズの多様化などにより、総合運動公園の役割の変化等に対応していく必要があります。				
目的 (何をどうしたいのか)	総合運動公園の立地条件や再整備のための具体的な課題や条件を整理し、その後の総合運動公園の再整備に係る基本的な方針、配置計画などを示し、総合運動公園の再整備を行うことを目的とします。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び公園利用者				
事業内容 (手段、手法など)	・総合運動公園の再整備に向け、アンケート調査や市民参加による(仮称)基本方針策定検討会議を開催し、総合運動公園再整備基本方針を策定します。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	基本方針の策定	検討	策定		
	市民アンケートの実施	実施	-		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	総合運動公園施設の改修	-	再整備基本方針の検討	再整備基本方針の策定	

 事業実施 (Do) へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	より多くの市民に利用される公園をめざして、総合運動公園の(仮)再生修復検討委員会を開催し、再生修復の基本方針を策定します。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		28年度	29年度	
	基本方針の策定	検討	検討委員会による取りまとめ	
	市民アンケートの実施	実施	実施	
実施した取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民及び有識者等による伊勢原市総合運動公園再生修復検討委員会を設置(平成29年12月)し、再生修復方針案を取りまとめました。 ・保育園の保護者及び庁内において、遊具に関するアンケート調査を実施しました。 			
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度	
			28年度	29年度
	総合運動公園施設の改修	—	再整備基本方針の検討	検討委員会による取りまとめ

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		0	千円	2,862		千円			
内訳	国県支出金 ①	0	千円	0		千円			
	地方債 ②	0	千円	0		千円			
	その他特財 ③	0	千円	0		千円			
	一般財源 (a)-①-②-③	0	千円	2,862		千円			
国県支出金の内容									
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他							
人件費	正規職員	0.20	人	1,730	千円	0.20	人	1,746	千円
	その他の職員	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
	人件費合計 (b)	0.20	人	1,730	千円	0.20	人	1,746	千円
トータルコスト (a)+(b)		1,730	千円	4,608		千円			
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位	市民		単位	
		対象数	101,635	人	102,037		人		
		総事業費 / 対象数	17	円	45		円		

評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	計画どおり、市民及び有識者等による伊勢原市総合運動公園再生修復検討委員会を設置し、再生修復整備方針案を取りまとめることができました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	特定の公園の再整備であり、他市と一律に比較はできません。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	市民ニーズが高い公園施設の整備について、市民アンケートや市民及び有識者による検討委員会での検討を行い、総合運動公園の再整備に繋げていくことは有効である。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	専門機関による調査委託と同時並行して、市民及び有識者による検討委員会での検討することにより、専門的で市民ニーズを反映した再生修復整備方針を取りまとめることができました。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	詳細設計に当たっては、再生修復整備方針に対する市民意見を聞くとともに、本市の財政状況を踏まえた中で、最小の経費で最大の効果を発現できよう取り組む必要があります。
次年度以降の取組の方向性	伊勢原市総合運動公園再生修復検討委員会により取りまとめられた方針案に基づき、パブリックコメントを実施し、伊勢原市総合運動公園再生修復整備方針を策定するとともに、早期の具現化を図るため、詳細設計を実施します。
所管部長による総評	本市のスポーツ拠点として、また災害時には防災の拠点としての機能を保持しつつ、市民の健康づくりや遊び、景観など、子どもから高齢者まで多世代が楽しむことができる魅力的な公園づくりは、本市の持続的な発展に欠かせないものであると考えます。第5次総合計画後期基本計画に基づき、着実に事業を推進していく必要があります。